

地域ケア推進会議 報告書

【医療・介護連携に関する場合のみ】

提出日	2020年8月17日
作成 高齢者支援センター	町田2
作成者	小林真人

1.開催日時	2020年7月27日	(月)	19:00	～	20:00		
2.会場	Zoom使用によるオンライン開催						
3.主催センター	町田1	・	町田2	・	町田3		
4.参加人数	18名						
5.参加者内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者支援センター		8人	<input checked="" type="checkbox"/> 医療と介護の連携支援センター		1人	
	<input checked="" type="checkbox"/> 医療関係者		4人	(うち、医師	1人)	<input checked="" type="checkbox"/> 介護事業者	2人
	<input type="checkbox"/> 民生委員	人	<input type="checkbox"/> 老人会	人	<input type="checkbox"/> 住民	人	
	<input type="checkbox"/> 町内会自治会	人	<input type="checkbox"/> 警察	人	<input checked="" type="checkbox"/> 行政	2人	
	<input type="checkbox"/> その他 ()						
6.開催テーマ	新しい生活様式など変化する各機関における現状・課題の共有、検討他						
7.地域課題	<p>(1) 課題設定の背景</p> <p>2020年3月以降、新型コロナウイルス感染症の流行により地域住民の暮らしや医療・介護現場における様々な環境変化が生じている。そんな状況下において、従来の会議形式での場を活かせないことで情報交換する機会を持たずに経過している。</p> <p>(2) 検討した地域課題</p> <p>・医療・介護現場における地域課題や工夫等の情報について、従来のやり方(会議形式やその頻度等)が行えないことによる情報の不足が生じている。</p>						
8.会議の内容	<p>①あんしんキーホルダーの周知活用を促進に向けて、町田圏域3センターが圏域内の医療・福祉事業所等にあんしんキーホルダーの普及啓発ポスターやチラシを配架する。登録率と相談経路チェックを行うことで効果測定を行うこととする。</p> <p>②おくすり手帳の活用促進・連携ツールとしての活用。今年度の町プロ協議会で作成されるロゴ入りお薬手帳カバーを連携ツールとしての活用トライアルにも運用する。お薬手帳の正しい使い方の説明書の作成を行う。次回、効果測定について検討する。</p> <p>③各機関が抱えるコロナ禍における現状・課題・工夫等について、会議・会合・研修会等の中止による情報の不足について、個別支援における連携の取りにくさ等について協議を行った。</p>						
9.課題に対する対応策・今後の地域での展開	<p>個別支援においては、連携手段の一つとして「お薬手帳を使った連携の活用」についてトライアルを行う。また、個別事例についても適宜ICTやオンライン会議の活用を検討推進していく。</p> <p>個別支援以外の場面(圏域ごとの各種連絡会等)での情報不足の解消及び情報共有に向けては、町田圏域で定期的な情報交換・協議の場を設けることとする。</p>						